

翔陽高校生 議会傍聴しました!

12月9日(水) 大津町議会(一般質問2日目)の様子を翔陽高校3年生13名(政治経済受講者)が傍聴させていただきました。

傍聴させていただいた生徒のレポートの中からいくつかをご紹介します。

『自分にも関わる』という意識



瀬上 透季
せのうえ みずき

私は、大津町に住んでいますが、正直なところ今まで議会に興味を持たず関わろうとしていませんでした。ですが、今回傍聴してみて、大津町をよりよくするために、多くの方が議会に参加されていることがわかりました。また、議会を傍聴することだけが議会に関わるのではなく、毎回発行されている『議会だより』に目を通すことも議会に関わることではないかと思います。これから、主権者となる上で、「自分にも関わる」ことだという意識を持ち、自ら発信したり、意見を述べたりしていきたいと思います。

納得解を出す難しさ

私は町外に住んでいますが、大津町は阿蘇と熊本市内の中間に位置しており、住みやすい地域だと思っていました。しかし、そんな大津町だからこそその課題があり、それらを改善し、より良くしようとしているのが傍聴して感じました。議会には町民の方々も傍聴されており、多くの方々の関わりで成り立っていることも改めてわかりました。また、問題や課題を提示するのは簡単でも、誰もが納得するような解決策や対策を考えるのはとても難しいこともわかりました。

上野 七
うえの なな



コロナ禍だからこそ

コロナ禍だからといくつもの案がだされて、単純に「すごい!」と感じました。テレワークに対応した設備や公共交通の充実を目指した話し合いの場で、今の日本の状況の中では、必要で大切なことだと思うので、これらの話し合いの重要性を改めて感じました。また、居住してくる人に対する対応は適切かなどのことも考えることで町の人が安心して信頼してもらえる町になっているんだろうと思いました。



川辺 流嘉
かわべ るか

大津町に関わる一員として…

今回傍聴をさせていただき、多くの大人が町のために話し合いをされており、自分たちがいつも行う話し合いの規模とは全然違うなと思いました。また町の予算などを考えながら、よりよい町づくりを考えられている議員の方々の活動や志に感銘を受けました。通学も就職先も大津町なので、もう少し大津町について考えていきたいと思いました。また、18歳になり、選挙で投票する責任を感じるきっかけにもなりました。



岡本 拓海
おかもと たくみ

これからの自分にできること



古庄 恵慎
ふるしょう けいしん

これまで高校に通いながら、大津町の「もっとこうなれば!」ということはありませんでしたが、それをどう解決していけばいいかわかりませんでした。議会を傍聴したことで、まず「何が問題なのか」、「どうしたら改善できるのか」、「これから何をすればいいのか」など一つ一つ具体的に出していくことが大切なんだと改めて思いました。また大津町の課題に対しても、自分たちにできることを見つけ、行動したり、発信していきたいと思います。